



った。その他の方々は今なお北朝鮮によって  
拉致されている可能性があり、ご家族の苦し  
みも続いている。拉致問題は現在進行形の間  
題なのだ。また、アニメ『めぐみ』で取り上  
げられている横田めぐみさんが拉致された年  
齢は十三歳。十五歳である私よりも幼い時に  
拉致された。当時のめぐみさんの恐怖や絶望  
を思うと、過去の話だ、他人事だと無関心だ  
った過去の自分をとても恥ずかしく思う。  
拉致問題に興味を持つようになった私は、  
友達に話を振ってみたことがある。「近頃、  
北朝鮮拉致問題に興味あって、結構調べてい  
るんだよね。」というのと、友達は「すごい！難  
しそうで私には無理。」と苦笑していた。以前  
の私もこういうに違いない。しかし、今はこ  
の言葉に違和感を覚える。確かに、拉致問題  
は非常にデリケートで難しい問題である。し  
かし、難しいから知ろうとしない、行動に移  
さないのは間違っているのではないだろうか。  
被害者ご家族によると、拉致被害者の親で

ご存命の方はとても少なくなっているらしい。それほど長い年月が経ったということなのだ。一刻でも早く問題を解決しなければならぬ。問題解決のために私にできることは何か。それは、今回の学びをより多くの人に伝えることだと思う。

サミットに参加しなければ、私は拉致問題について無関心のまま何気ない日々を過ごしていただろう。私たちが過ごしている何気ない日常は、拉致被害者とそのご家族が理不尽に奪われた当たり前の幸せなのだ。

「自由の国日本で行動しないことは罪深い。」私たちは、声を上げられる自由を持っている。それはかつて、そして今なお拉致被害者たちが奪われている自由。だから私は、声を大にして伝えていきたい。拉致とは何なのか。今もなお戦い続けている政府と被害者ご家族について。拉致問題を風化させてはいけない、許してはいけないということ。